

「スピリタス」土手

長い梅雨がやっと明けて、暑い暑い本格的な夏到来となりました。こんな時はスカッと冷たいものでも飲みに出かけたところですが、相変わらずの外出自粛ムード。自粛中の夕食づくりで、ちょっとだけ料理をする楽しみを覚えたこともあり、「飲みに行けないのなら、作っちゃえ」という事で、レモン系が好きなので「リモンチェッロ」というお酒にチャレンジしてみました。材料の容器、レモン、ホワイトリカー、氷砂糖までは順調に揃えられたのですが、あと「スピリタス」という96度(世界一のアルコール度数)のウォッカが、どこを探しても見つからないんです。よく聞いてみると、消毒用アルコールの代用のために、3月から品薄状態でいつ入るか分からないとの事…。本当に色々な所に影響が出てるんやなあと再認識させられました。「スピリタス抜き自家製レモン酒」ですが、おいしく頂ける事を楽しみに、あと2~3週間ほど熟成を待ちたいと思います。



完全に部屋着です。↑

今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【GAFA】

Google (グーグル)・Apple (アップル)・Facebook (フェイスブック)・Amazon (アマゾン) のことであり頭文字をとってGAFAと称する。商品や情報を提供するプラットフォーム企業で、世界中のユーザーが4社のサービスを利用すると同時に氏名や住所、購入品などの個人情報を提供している。GAFAへの個人情報の集中や独占について世界各国から懸念の声が上がる中、技術革新と規制強化のバランスが課題となっている。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【ワールドワイドな視点で捉えた税金事情】

「税金が家計を圧迫するから、老後は海外で暮らしたほうが・・・」と考える方もいるのではないのでしょうか。それでは実際に比較してみましょう。まずは消費税。欧州は税率が比較的高く、スウェーデンやノルウェーなどでは25%でイギリスやフランスなどでは20%となっています。アメリカでは州ごとに異なりますが8~9%台が多いようです。次に個人にかかる個人所得課税ですが、日本の最高税率は55%、イギリスは45%、アメリカでは約50%です。ただ、各国によってさまざまな控除制度などがあるため一概に税率だけで判断はできません。例えば、年収500万円夫婦と就学の子が2人の4人家族の場合では、年間にかかる税金は日本では約16万円、イギリスでは約62万円、アメリカでは約5万円と実際にはかなりの差があります。

さらにこれに社会保険料も考慮したらどうでしょう。国民が負担した税金と社会保険料の合計金額を国民所得で割った数値を「国民負担率」といいますが、2016年の日本の数値は約43%で所得の半分近くを税金と社会保険料が占めています。

ただ、これがイギリスでは約47%、アメリカは約33%、何とフランスでは約67%となっています。このような結果から突出して日本の税金が高いというわけではなさそうです。税金が何にどのように使われるかに注目したいですね。



今を生きる

先人の言葉

今日も生涯の一日なり

啓蒙思想家・教育者である福澤諭吉の言葉。この瞬間の1秒の積み重ねが1分となり、さらに1時間、1日、1カ月、1年・・・一生となる。今を大切に生きよう。